

1学期も最後の月、7月に入りました。昨年の校長室だより8月号でも記しましたが、酷暑という言葉がピッタリなほど暑さが厳しすぎます。今年の梅雨はあっという間に明け、連日の猛暑にエアコンもフル稼働しています。

そんな今、国内のあちらこちらで節電要請（電力需給の逼迫が予想される時間帯はできる限りの節電に協力ください）が出されています。本校でも、休み時間で利用者がいないトイレの電気を消したり、移動による空き教室の消灯や扇風機を止めたりすることを、今まで以上に積極的に行うことで協力していました。これらのちょっとした節電の積み重ねでも、地球環境のためになり、光熱費（ご存じのとおり高騰しています）の削減にもつながります。

さて、ちょっとしたことの積み重ねは、決して軽視出来ません。地球環境や電気代削減だけでなく、自分の考え方や行動を変えるきっかけにもなります。例えば、トイレのスリッパを揃えたり、落ちているゴミをゴミ箱に捨てる等々、些細な行動を繰り返す事でも周りが少し明るくなるような気がします。地球のためや学校財政のためだけでなく、結局は自分自身のためになるような気もします。

もうすぐ夏休みです。

あまりの暑さのために熱中症で救急搬送される患者が例年以上に多いことや、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向から増加傾向に転じ始めたことが報じられています。

やっと一息つき始めたと思った矢先、またまた様々な制限が必要になる気配です。やるせない辛さや思いと上手く付き合いつつ、熱中症や感染防止対策をしっかりと行って、有意義な夏休みを過ごしてください。